

拓水

TAKUSUI
12

2006年 December

No.602



TOPICS JF塩田、JF志筑浦、JF生穂、JF佐野 4組合が合併仮契約調印

CONTENTS

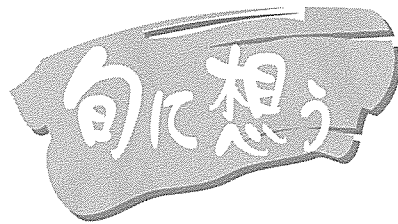
- 2 旬に想う
信号機こと始め
表紙の言葉
- 3 TOPICS
part1 JF塩田、JF志筑浦、JF生穂、JF佐野
4組合が合併仮契約調印
part2 平成18年度 指導事業コース
「営漁事業」の開講について
- 4 REPORT
丸一よしのり激励会
- 5 フリースペース our hour
自民党フィッシャリーミーティング in ひょうご
REPORT
JFグループ兵庫水産政策協議会発足
- 6 兵庫信漁連「ウィンターキャンペーン」のお知らせ
- 7 NEWS
JFグループ兵庫 設立推進室だより
「第2回JFグループ兵庫・経済事業改革JF
設立推進委員会」開催される
- 8 兵庫 JCC 通信
JF岩見 代表理事組合長 井上 仁氏
2006 年度漁協運動功労者表彰受賞
- 9 行事予定
大和田塾だより
編集部よりお願い“拓水をさがしています！”
- 10 坂越かきまつり開催!!

表紙の言葉



余部御崎灯台

標高284.1メートル（日本一）にそびえ立つ、堂々とした佇まいの灯台。昭和26年に建設され、海上交通の安全を見守っています。その昔、この御崎には平家の落人が流れ着き、その末裔が現在もこの地で生活されているそうです。冬の日本海。その荒波を恐れないのも勇ましさを名残でしょうか……。



写真と文 遊方子



外車の登録標

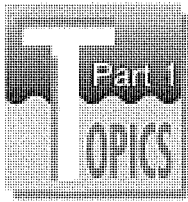
信号機こと始め

◆酒酔い運転で追突し、相手車は海へ転落して幼児が命を失った。それを切っ掛けに、飲酒運転の取締りが厳しくなり大勢の検挙者が出た。これ程に、飲酒に対し甘い体質だったかと驚いた。ある実験では、少量の酒で一時停止が出来なくなり、信号無視・速度違反を重ねるといふ結果が出ている。「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」は、徹底して厳守願いたいものだ。平成十七年十二月末の自動車保有台数は七千九百二十一万台。百人に一人が交通事故で死傷している。交通事故は、信号機の無い交差点で起き易いという。車を運転する場合、交差点に近づいたら注意信号点滅と心得るべきだろうが、信号機のある交差点でも、黄色や赤色で進入する車が、多くなったように思うのである。

◆信号機が日本に登場するのは大正七年、東京の上野に初めて設置された。それは信号標板と呼ばれ、赤地にハ止まれV青地にハ進めVと書いた二枚の円盤を支柱に揚げ、ハンドルで回す手動式だった。当時の東京は、路面電車・自動車・荷車・馬車が錯綜し混雑を極めており、事故が増え続け、交差点では巡査が手を振り大声で「止まれ/進め」の指示をしたが、巡査の疲労は甚だしく、交通整理中の事故も頻発したと記録にある。そんな所から信号標板は注目されたが、戸惑う通行人も多かったそうだ。

◆大正十三年の自動車保有は2万台で、昭和四年には3倍以上となった。交通事故も増え続けて、手動式の交通整理器は全国に普及、巡査も増員される。当時のイギリスやドイツでは、既に自動信号機が使われて交通整理の合理化が進んでいた。その効果に触発され、昭和五年に自動信号機を輸入、日比谷交差点に設置された。それは色灯式でトマレス・スミス・チウイと黒文字で表示してあった。翌年、現在とはほぼ同形式のものが国内で生産される。そして、昭和の戦争で殆どを消失、再び信号機設置が進むのが二十五年頃。当時は電力事情が悪く、それを補うため、緑と白のゼブラ模様の背面版が特徴だった。

◆今、全国に約十九万基の信号機が作動し、車の流れを制御している。使われる電力量も大きなものだが、その信号も守らなければ意味が無いのである。或るデータでは、ハやぎ座Vの人が事故を起こし易く、干支ではネズミ・トラ年の人が加害者になり易いという。単なる統計データではあるが、生まれた年月で交通事故を起こし易いと指摘されては、当事者には不安な材料である。自動車台数は増え続け、運転免許保持者も増加の一途にある。街を歩くにも常に車輛に目を光らせ、安全への注意が肝要であるが、酔って運転したり、信号無視に罪の意識の薄弱な人には、免許を持たさぬ定めが必要のように思う。

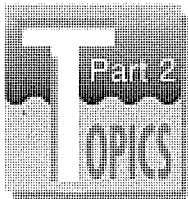


JF塩田、JF志筑浦、JF生穂、JF佐野 4組合が合併仮契約調印

去る平成18年11月28日(火)16時より淡路市役所において、JF塩田、JF志筑浦、JF生穂、JF佐野の合併仮調印式が開催されました。

JF生穂 松原幸次組合長より「高齢化や後継者不足、魚価低迷、漁獲量減少、燃料費の高騰など漁業を取巻く環境は年々厳しくなっているが、安定した組合運営には、組織強化を図り足腰を強くし、一致協力して頑張っていきたい」と主催者挨拶があり、続いてJF兵庫漁連より合併仮契約書朗読の後、4JFの各役員をはじめ、県・市行政関係者他多くの来賓に臨席いただき、淡路市 門康彦市長・JF兵庫漁連 小松司会長両氏の立会により合併仮契約書に調印が行われた。

調印後、西村康稔衆議院議員・北浦義久県会議員をはじめ来賓より祝辞が述べられた後、平成19年4月1日新組合となる「津名漁業協同組合」スタートに至るスケジュールの確認があり、盛会裏に調印式が終了しました。



全国漁業協同組合学校

平成18年度 指導事業コース「営漁事業」の 開講について

全国漁業協同組合学校では、漁業経営改善に向けた「地域漁業を再生するための「攻め」と「守り」の営漁事業を学ぶ」をテーマにした指導事業コースが、1月23日から3日間開講されます。

つきましては、指導事業コース「募集要項」が、後日送付されますので、貴会役職員の方々のご参加、また会員JFに対する参加のご指導をお願い申し上げます。

- 1. テーマ 地域漁業を再生する「攻め」と「守り」の営漁事業を学ぶ
- 2. コーディネーター 東京海洋大学助教授 濱田 武士氏
- 3. 講義の流れ
 - ① 営漁事業の論点について、馬場 治教授、濱田武士助教授より講義が行われる。
 - ② 多彩な講師を迎え、ケーススタディー「都会に売り込め、地場の魚」他、豊富な事例を紹介した研修を行う。

❖ 開催期間	平成19年1月23日(火)～25日(木)
❖ 場所	全国漁業協同組合学校
❖ 申込締切	平成19年1月16日(火)
TEL: 04-7144-8125 / FAX: 04-7145-5003	

平成18年度全国漁業協同組合学校主催
指導事業コース 募集要項

地域漁業を再生するための「攻め」と「守り」の営漁事業を学ぶ

(ケーススタディー)
・「都会に売り込め、地場の魚」
・零細企業の再生に立ち向かう借金マンの実践
・販売拡大とリスク管理
・養魚経営の再生プランと地域漁業の構築
・養殖L.L.P.の設立と出席・品質の改善

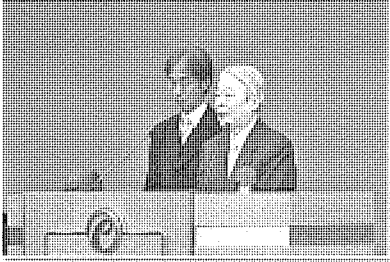
開催日 1月23日(火)～25日(木)
場 所 全国漁業協同組合学校
申込締切 1月16日(火)

277-0254 千鳥島町西野1-4-5
TEL 04-7144-8125
FAX 04-7145-5003
E-MAIL gk@fishu.or.jp

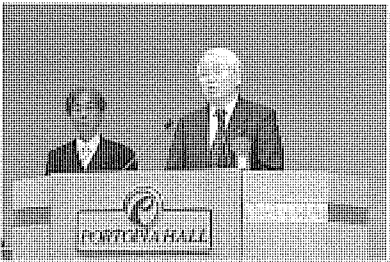
丸一よしのり激励会

平成18年
12月9日(土)

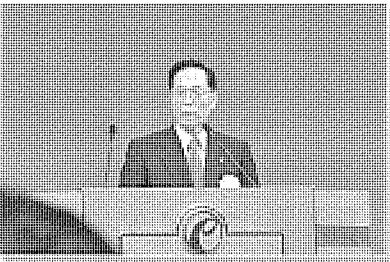
去る12月9日(土)17:00より神戸ポートピアホテルにて
丸一よしのり激励会が開催されました。



自民党として力強く応援する青木会長



地元兵庫県を代表してエールを送る井戸知事

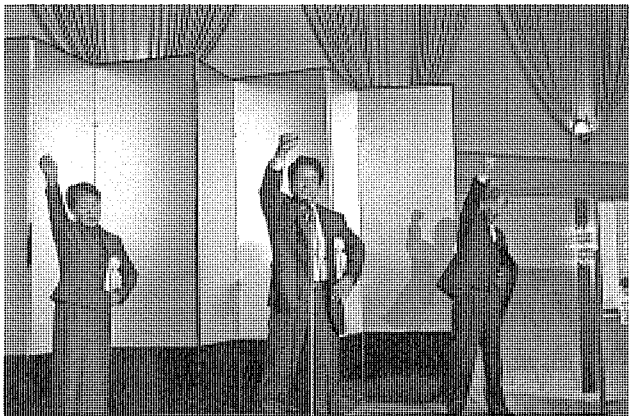


オール水産代表として挨拶する植村会長



会場には青木幹雄自民党参議院議員会長をはじめ、竹山裕水産総合調査会会長、鈴木俊一水産総合調査会顧問、浜田靖一衆議院議員、鶴保庸介参議院議員、地元選出議員の渡海紀三朗衆議院議員、井上喜一衆議院議員、西村康稔衆議院議員、盛山正仁衆議院議員、木挽司衆議院議員、関芳弘衆議院議員、鴻池祥肇参議院議員、末松信介参議院議員ら国会議員のほか、井戸敏三兵庫県知事及び県議、市町関係、水産関係者など約七百人が集まって丸一よしのり氏を激励しました。

はじめに後援会長のJF全漁連植村正治会長より「漁業の現状を把握している丸一よしのり氏を、オール水産の代表として国政の場に送り出す為に、皆様のご協力をお願いします。」と挨拶しました。続いて青木参議院議員会長より「地元の応援者の皆様に感謝を述べると共に、厳しい漁業者の状況を国政に反映すべく、議員一丸となって全力を挙げ、応援し、仲間として迎えたい。」と応援があり、井戸敏三兵庫県知



会場一丸となり「がんばろう」をコールした

ました。最後に、オフィスながわの中川政雄代表から熱いエールが贈られました。

この後行われた懇親会では、鴻池祥肇参議院議員のご発声で乾杯、JF兵庫漁連小松司会長が挨拶し、片山守県漁青連会長、森武美県女性連会長のご発声により「がんばろうコール」も行われ、丸一氏の応援に会場一丸となりました。

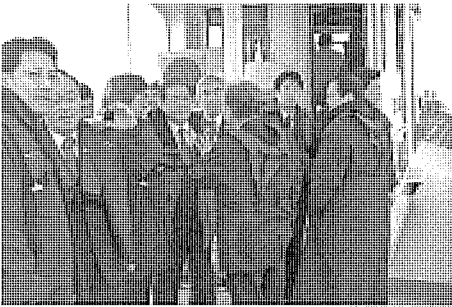
事は「地元として、漁業政策を良くしていく為には丸一さんしかいない。共にがんばりましょう。」と述べられました。

引き続き、丸一氏が「自民党公認候補として、長靴を履いて鉢巻きを締めて国会に行こうと真剣に考えております。大勢の皆様方の温かい応援に感謝いたします。10月6日に旗揚げをして以来、全国をまわり、浜の現状を拝見させていただいておられます。日本の漁業を守るだけでなく水産業界を発展させる具体的な政策を執り、家族を安心させ、地域を活気づける為にはオール水産の代表として水産王国の再来を望むべく、国政の場へ参加しなければならぬと決心いたしました。駆け出しではありますが、力一杯頑張りますのでご協力よろしくお願いたします。」と支援をお願いしました。



去る平成18年12月9日(土)神戸市立水産体験学習館において、自民党主催による「フィッシャリーミーティング in ひょうご」が開催され、本県漁協代表者らと活発な意見交換が行われた。

竹山裕会長挨拶の後、JF兵庫漁連 小松司会長より「兵庫県は日本海と瀬戸内海に挟まれ、漁船漁業、のり養殖ともに盛んな県だが、日韓漁業問題や漁業用水等の環境問題、資源



の減少など課題が山積している。自助努力にも限界があり、是非政治の力で支援して欲しい。」と挨拶した。

続いて、JF神戸市 山田隆義組合長より「瀬戸内海の再生に向けて」、JF家島 中村庄助組合長より「海洋ゴミ・廃棄物等不法投棄対策について」、JF福良 前田若男組合長より「魚価対策等について」、JF香住町 吉岡修一組合長より「日

自民党 フィッシャリーミーティング in ひょうご

韓漁業問題について」でそれぞれの意見発表を行った後、各議員と出席組合長らの意見交換が行われた。鈴木俊一顧問より「漁村の再生に課題は多い。廃棄物については国政の問題であり、流通の問題は共に考えなければならない。」とまとめられた。最後に竹山会長より「多様な水産問題を解決するには、水産業界のプロを国政の場へ送る必要がある。丸一よしのりさんとともに支援したい。」と締めくくった。

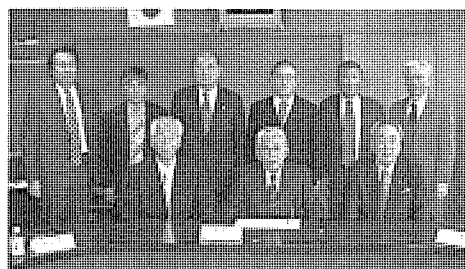
◎水産関係議員ほか中央からの出席者(敬称略)

所 属	役 職 名	氏 名
参 議 院 議 員	水産総合調査会長	竹山 裕
衆 議 院 議 員	水産総合調査会 顧問	鈴木 俊一
衆 議 院 議 員	水産基本政策小委員長	浜田 靖一
参 議 院 議 員	水産総合調査会副会長	鶴保 庸介
衆 議 院 議 員	兵庫県選出議員	西村 康稔
衆 議 院 議 員	〃	関 芳弘
参 議 院 議 員	〃	末松 信介
自 由 民 主 党	自民党政務調査会	濱 浩二
水 産 庁	研究指導課長	長尾 一彦
水 産 庁	瀬戸内海漁業調整事務所長	堤 眞治
(社)大日本水産会	専務理事	石原 英司
(社)全国漁港漁場協会	会長理事	田中 潤児
(社)全国豊かな海づくり推進協会	専務理事	谷川 洋司
J F 全 漁 連	代表理事専務	宮原 邦之
J F 全 漁 連	参 与	和田 一郎
J F 全 漁 連	漁政国際部次長	道下 善明

JFグループ 兵庫水産政策協議会発足

平成18年
12月9日(土)

これまで県下漁協系統9団体で構成し、漁協組織の政策集団として機能してきた漁政懇話会は、去る平成18年12月9日(土) JF神戸市において、県下すべての漁協を加えたオール水産として団結力と協力体制をさらに強固なものとするため、摂津漁業協会、(社)播磨漁友会、(社)淡路水交会及び但馬地区漁業協同組合協議会の4地区協議組織を加えた「JFグループ兵庫水産政策協議会」として新たに発足した。



- ▽会 長 小松 司 兵庫県漁業協同組合連合会 (財)兵庫県水産振興基金
- ▽副会長 秋武 宏 兵庫県信用漁業協同組合連合会
- ▽委 員 吉岡修一 兵庫県漁業共済組合
共水連 兵庫県事務所
兵庫県漁業信用基金協会
但馬漁船保険組合
但馬地区漁業協同組合協議会
兵庫県内海漁船保険組合
摂津漁業協会

- 山田隆義 兵庫県内海漁船保険組合
- 井上 仁 (財)ひょうご豊かな海づくり協会
- 中村庄助 (社)播磨漁友会
- 前田吉計 (社)淡路水交会

JF 兵庫信漁連

対象：スーパー定期（預入期間3年）新規10万円以上預入の方

特別金利をプラスします！

ウィンターキャンペーン

キャンペーン期間：平成18年12月1日～12月29日

JF兵庫信漁連では、次の店舗で
ウィンターキャンペーンを実施中。

詳しくは
窓口まで！



播磨地区（1年定期貯金）

摂播地区内の店舗では、10万円以上（新規・増額）の大口・スーパー定期貯金1年をご契約の方について、店頭表示金利に特別金利をプラスいたします。

取扱店舗

本店（江井ヶ島営業店、岩見営業店、室津営業店、家島営業店、相生営業店、坂越営業店、兵庫取次店、播磨町取次店、高砂取次店、伊保取次店）、明石浦支店、林崎支店



但馬地区（3年定期貯金）

但馬地区内の店舗10万円以上（新規・増額）の大口・スーパー定期貯金3年をご契約の方について、店頭表示金利に特別金利をプラスいたします。

取扱店舗

津居山支店、柴山港支店、香住支店、香住加工支店、浜坂町支店



JFグループ兵庫 設立推進室だより

「第2回JFグループ兵庫・経済事業改革JF 設立推進委員会」開催される

平成18年11月25日(土) 兵庫県立水産会館大会議室
 において「第2回JFグループ兵庫・経済事業改革
 JF 設立推進委員会」が開催されました。

◆小松推進委員長の挨拶

「11月1日に県漁連会長に就任したところであり、現在は、合併構想の推進と合わせて、丸一前会長の国政への進出にかかるご協力をお願いしているところです。

本委員会では、先日、常任委員会を開催し、本日第2回の設立推進委員会の開催となっております。そして、当初の予定では「この指とまれ」の時期を来年6月に行い、合併参加の判断をしていただくことになっていりましたが、参議院選挙の影響もあり、「この指とまれ」は来年7月以降に行うスケジュールで検討を行っているところです。

また、この度、但馬地区のJF組合長・関係市町主務課長に委員としてご参画いただきました。但馬地区での4JFの合併協議の経験を踏まえ、県域での合併においてもご協議いただきたいと思います。

◆委員会の協議結果

「第1号議案」◆推進副委員長の選任について

事務局より推進副委員長については、小松委員長がJF香住町・吉岡組合長を選任し、本人が承諾されたことを報告した後、小松委員長より補足説明があり、原案どおり承認されました。

「第2号議案」◆設置要領の一部変更について

事務局より資料に基づき、本委員会設置要領第4条第1項に規定している推進委員のうち、農林中央金庫大阪支店支配人を、農林中金の規程変更に伴い、同金庫大阪支店支店長に変更する旨の説明を行い承認されました。

「第3号議案」◆「経済事業改革JF」の改革の方向性について

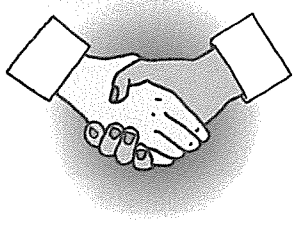
事務局より資料とスライドを基に説明をし、原案どおり承認されました。

「第4号議案」◆今後の進め方について

事務局より資料に基づき、説明を行い、原案どおり承認されました。

◆本件にかかるお問い合わせ

JFグループ兵庫・経済事業改革JF
 設立推進委員会 推進室(略称:設立推進室)
 TEL: 078-652-3445 ◆ FAX: 078-652-3552
 (TEL・FAX: 設立推進室直通)
 E-mail: m-nishizume@hgggyoren.jf-net.ne.jp



JFグループ兵庫・経済事業改革JF 設立推進委員会名簿

「設立推進委員会・常任委員会」

役職	氏名	所属
委員長	小松 司	兵庫県漁業協同組合連合会 (財)兵庫県水産振興基金
副委員長	吉岡 修一	兵庫県漁業共済組合 共水連 兵庫県事務所 兵庫県漁業信用基金協会 但馬漁船保険組合
		代表理事会長 副理事長 組合長理事 理事長 組合長理事

「組織検討部会」

氏名	所属
村瀬 晴好	常任委員会委員・JF柴山海組会長
上村 広一	常任委員会委員・JF坊勢組組長
	部長 副部長

「購買事業検討部会」

氏名	所属
井上 仁	常任委員会委員・JF岩見組会長
松原 幸次	常任委員会委員・JF生穂組会長
	部長 副部長

「販売事業検討部会」

氏名	所属
山田 隆義	常任委員会委員・JF神戸市組会長
中川 照央	常任委員会委員・JF室津組組長
	部長 副部長

「指導・系統事業検討部会」

氏名	所属
秋武 宏	常任委員会委員・JF兵庫信漁連会長
石上 昌利	常任委員会委員・JF一宮町組会長
	部長 副部長

(平成18年12月14日現在)

JA丹波ささやま 「ファーマーズマーケットオープン」

10月5日、JA丹波ささやまは農畜林産物直売所「ファーマーズマーケット」と農業資材を販売する「JAグリーン」の2施設を備えた「味土里館」を篠山市東吹にオープンした。

「味土里館」は組合員から多くの期待をいただき、中期営農経営計画に掲げ協議を重ね今回のオープンに至った。

午前中に行われた竣工式では仲井厚史代表理事組合長がこれまでの経緯を振り返り「この味土里館を丹波篠山の表玄関の施設として多くの方に来場いただき、丹波篠山農業のすばらしさを知っていただきたい。地元農業の振興になることを期待したい」と式辞を述べた。

午後1時には開店を待ちわびる人々の列ができ、活気溢れるオープニングとなった。

丹波篠山で生産された安心安全な農産物、特産物を販売する「ファーマーズマーケット」は野菜を中心に、おいしいお米を販売する米工房、米粉で作られたパンの販売、丹波篠山牛を販売するコーナーを設置。丹波篠山産五百万石で造った純米酒「あさぎりの郷」を中心に地酒コーナーも充実している。

肥料、農薬、小農具等を中心として販売する農業資材店舗の「JAグリーン」では営農指導・栽培指導も行っている。



<http://www.zenchu-ja.org/>

2万人が来場！ 「たべる、たいせつフェスティバル2006」

11月18日(土)、19日(日)の両日、神戸国際展示場にて日本生協連主催の「たべる、たいせつフェスティバル2006」が開催されました。会場には、地元神戸はもとより、関西の生協の組合員さんもたくさん来場され、2日間で2万人を超える参加で終始賑わいました。

この「たべる、たいせつフェスティバル2006」は、今年で2回目になりますが、全国の生協や、食育に取り組んでいる行政、NGO、生産者、食品企業など数多くの協力を得て、開催されたもので、兵庫県生協連の会員生協では、コープこうべをはじめとして、大学生協神戸事業連合、大学生協神戸地域センター、神戸医療生協、尼崎医療生協、阪神医療生協、ろっこう医療生協、姫路医療生協、生協都市生活などが出展し、食育の取り組みや健康チェック活動をおこないました。

たべる、たいせつゾーン、お食事ゾーンのある1号館では、47団体が出展し、食育の取り組みや食生活に関わる知識など体験型のブースや展示で紹介し、お食事ゾーンでは、近畿の生協や生協連が関西の食文化を提供しました。また、3号館では、34団体がコープ商品の試食をおこなうコープ商品ゾーン、9団体が食生活の変化やコープ商品のこだわり、誕生から歴史を紹介するテーマゾーン、11団体が産直活動や事業、即売などを行う産直ゾーン、にぎわい広場、たべる、たいせつシアターで構成され、終始、たくさんの来場者で賑わいました。



にぎわう「たべる、たいせつフェスティバル2006」会場

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

JF岩見
代表理事組合長
井上仁氏

2006年度漁協運動功労者表彰受賞

11月22日、東京・虎ノ門パストラルにて2006年度(第21回)漁協運動功労者表彰式が開催され、本県ではJF岩見代表理事組合長井上仁氏が①卓越した行動力で組合の経営基盤強化に貢献したこと②本県漁協活性化の第一段階である系統3団体の共通役員制導入のきっかけとなった「漁協系統団体活性化委員会」の委員として、積極的に参画し、その方向性に大きな影響を与えた③新体制のもと、信漁連副会長として会長を補佐し、事業の円滑運営に努めると共に、漁連・共済組合の理事として、各種委員会・検討会で職務に精励し、成果を上げた④(財)ひょうご豊かな海づくり協会の理事長として、栽培漁業の推進に努めてきたこと等多くの功績が認められ受賞されました。



表彰式では松岡利勝農水大臣(代読)による祝辞に続き、JF全漁連植村正治会長より功労賞が授与されました。功労者を代表してJF福島信漁連南部房幸会長が受賞の喜びを述べ、引き続いて記念撮影と祝賀会が催されました。



行事予定 <変更になる場合があります>

JF 兵庫漁連		
12月	12日(火)	海の子作文審査会(小会議室)
	13日(水)	第9回職員組織活性化委員会 第3回石油事業審議会
	16日(土)	第2回のり入れ会
	20日(水)	第10回職員組織活性化委員会
	22日(金)	理事会
	27日(水)	第3回のり入れ会
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)
	7日(日)	第4回のり入れ会
	17日(水)	第5回のり入れ会
	29日(月)	第6回のり入れ会

JF ぎょざい兵庫		
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)

ひょうご豊かな海づくり協会		
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)

JF 共水連兵庫		
12月	11日(月)	PM 摂津・東播、南浦地区推進協 合同研修会(福良)
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)

振興基金		
12月	20日(水)	大輪田塾
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)

基金共済		
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)

兵庫県		
12月	11日(月)	13:00～ 人権のつどい
	13日(水)	14:00～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会
	19日(火)	13:00～ 但馬海区漁調委(但馬漁業センター)
	21日(木)	常任委員会
	22日(金)	長期ビジョン推進委員会(県公館)

JF 兵庫信漁連		
12月	14日(木)	中四国近畿ブロック信漁連常務者 会議(高知)
	18日(月)	近畿地区信漁連会長・常務者会議 (農中大阪)
	22日(金)	13:00～ 理事会予定
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)

内海漁保		
1月	5日(金)	11:00～ 系統団体賀詞交歓会(大会議室)

その他		
12月	14日(木)	瀬戸内海海区漁連会長会

大輪田塾だより

11月29日に兵庫県水産会館にて「資源管理型漁業の実践について」及び「海の畑づくりについて」の講義が開催され、今後の資源管理型の漁業や、藻場の造成について活発な意見交換がなされました。

12月の主催講座の開催予定

日時	テーマ	講師
12月20日(水) 14:30～	食育について	西脇市立あゆみ保育園 田中佐登美 園長



WANTED! 編集部よりお願い

拓水をさがしています!

600号発行を機に拓水バックナンバーの整理をしておりましたところ、右記の号が編集部には保存されていないことが判明いたしました。

お持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡お願いいたします。

連絡先 **078-681-3789**

(財)兵庫県水産振興基金 拓水担当：箕浦 宛

拓水保存版 欠品一覧

号	年	月	日発行
89号	昭和39年	1月	15日発行
105号	昭和40年	5月	30日発行
274号	昭和54年	7月	10日発行
304号	昭和57年	1月	10日発行
314号	昭和57年	11月	10日発行
316号	昭和58年	1月	10日発行
350号	昭和60年	11月	10日発行
415号	平成3年	5月	10日発行
455号	平成6年	9月	10日発行
500号	平成10年	6月	10日発行
540号	平成13年	10月	10日発行

編集後記

新しく拓水を担当させて頂くこととなりました。600号?選挙?組合取材?今までもう少し拓水を真面目に読んでおけば良かった……。こんな不真面目な編集長ですがどうかよろしく願いいたします。

坂越かきまつり開催!!

日時：平成19年2月4日(日) 場所：坂越海の駅
“しおさい市場”周辺



「坂越かきまつり」について

西播地域での冬の基幹漁業の一つである「かき養殖業」。赤穂市漁協にとってもこの「かき養殖業」は主要な漁業となっています。「坂越かきまつり」は、冬の味覚の代表である「海のミルク《かき》」を少しでも多くの皆様方に味わい、知ってもらおうと始めました。

毎年開催されている「坂越かきまつり」。今年度は、平成19年2月4日(日)に坂越海の駅“しおさい市場”周辺を会場に開催されます。坂越かきまつり実行委員会を昨年より立ち上げ、焼きかきの無料試食、かきの特売、さまざまなかき料理の販売など、生産地でしか味わえない新鮮なかきの魅力を体感していただけます。「坂越かき」を味わっていただく絶好の機会でもありますので、皆様のご来場をお待ちいたしております。

なお、会場周辺は駐車場が不足しておりますので、出来る限り公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

